

固有名詞索引

本書に言及される固有名詞を A) 人名(古代)・地名・神話伝説関係名辞と, B) 人名(近・現代)に分けて収載する。個所指示は本書ページ数で示した。n. とあるのは「注」であることを示す。A) は見出し語および原綴のあとに人名・地名・神話伝説関連の区別を付した。[地]は地名, [神]は神話伝説関係名辞であることを示し, 符号のないものは人名ないし種族名などであることを示している。説明文中の*記号は, 参照項目に関連する説明があることを示す。

見出し語のあとに原綴を付した。ローマ字化には c (κ), y (υ), ou (ου) を使用した。また, 母音の長短については, e (ε) と ē (η), o (ο) と ō (ω) のみの区別を示した。

A) 人名(古代)・地名・神話伝説関係名辞

ア 行

アイア Aia [神] 75n.40

アイゴス・ボタモイ Aigos potamoi [地] 203, 447, 479, 479n.23, 557-558

アイサ Aisa [神] 66-67

アイスキネス Aischinēs [アテナイ出身。前 390/89-315 頃。弁論家 →出典個所索引] 449n.7

アイスキュロス Aischylos [アテナイ出身。前 524/23-456/55。三大悲劇詩人の一人 →出典個所索引] 55n.28, 81, 96, 146n.9, 219, 223, 223n.7, 275n.32, 447, 480n.24

アイスクレー(醜惡) Aischrē [神] 404

アイティオプス Aithiops [神] 22

アイトナ(エトナ)(山) Aitnē [地] 81, 364

アイドネウス Aidōneus [神] →ハデス

アイネシデモス Ainesidēmos [クレタのクノッソス出身。前1世紀か。懷疑主義哲学者] 4

アイリアノス Ailianos (Claudius Aelianus) [ローマ(プラエネステ)出身。後170頃-235頃。ソフィスト, ギリシア語散文作家 →出典個所索引] 139, 297, 305, 391, 405, 543n.1

アウグスティヌス Augustinus [北アフリカ

のタガステ出身。後354-430。最大のラテン教父 →出典個所索引] 8, 164, 196

アエティオス Aëtios [後100頃。学説誌家 →出典個所索引] 5, 7-9, 106-107, 109, 120n.10, 128n.18, 140, 150, 164, 176n.25, 177-179, 181-182, 184-185, 196, 196-197n.5, 199-200, 202-203, 205-207, 210n.10, 217, 225-227, 228n.8, 270, 335, 337, 370-371, 386-390, 392, 433, 433-434n.19, 436, 471-472, 472n.20, 473, 474n.21, 477, 487n.9, 499n.10, 509, 521, 523, 524-525n.16, 526, 526n.19, 528-532, 536, 537n.26, 554n.9, 556-558

アカイア Achaia [地] 294

アカデメイア(派) Acadēmaicoi 4, 10, 283, 432n.18

アガテメロス Agathēmeros [前1世紀以降だが, 年代不詳。地理誌家 →出典個所索引] 138

アキレウス Achilleus [神] 19, 84, 343-344, 352

アキレウス・タティオス Achilleus Tatios [ビュザンティオン出身。後2世紀頃。不詳の著作家。同名の古代小説家とは別人 →出典個所索引] 8, 42, 82n.46, 228

アカウシラオス Acousilaos [アルゴス出身。前6世紀後半-5世紀前半。神々の『系譜論』

を著わした] 30-31, 31n.10, 53
アクラガス Acragas [地] 306, 363-364, 386, 400
アゲノル Agēnōr [神] [神話伝説上のフェニキア王。ポセイドンとリビュアの子で、カドモス*やエウロペの父] 104
アケロオス Achelōios [神] 19
アサベイア (不確実) Asapheia [神] 404
アスクレピアデス Asclēpiadēs [ビテュニアのブルサ出身。前1世紀。ローマで活動した医師。原子論を医学理論に取り入れた] 546
アッシュリア Assyria [地] 34n.11
アテナ Athēna [神] 86, 86n.52, 98
アテナイ [地] Athēnai 31n.9, 68, 71, 103n.1, 133, 159, 260n.19, 292, 296, 309-310, 341, 363, 444-447, 447n.3, 448n.5, 449, 483-484, 489-490, 506, 510n.3
アテナイオス Athēnaios [エジプトのナウクラティス出身。後3世紀前半。アレクサンドリアおよびローマで活動した著作家 → 出典個所索引] 5, 479
アテナゴラス Athēnagoras [後2世紀。キリスト教護教家 → 出典個所索引] 8, 25n.6, 38
アテノクリトス Athēnocritos [デモクリトス*の父?] 505
アトゥム Atum [神] 21n.1, 79
アトゥム-ケプレル Atum-Kheprer [神] 21n.1
アトラス Atlas [神] 61
アドラスティア Adrasteia [神] 37
アトロポス Atropos [神] 38
アナカルシス Anacharsis [スキュティアの王族。前6世紀初め。ギリシア各地を訪問。錨や轆轤の発明者とされ、しばしば七賢人の一人にあげられる] 105
アナクサゴラス Anaxagoras [哲学者 → 第12章] 3, 7, 9, 45, 136n.4, 146n.10, 147, 152n.13, 158, 164, 169, 172n.20, 172n.21, 174, 174n.23, 191, 198-199, 199n.6, 200, 203,

203n.8, 204, 211, 224, 248, 260n.19, 338, 361, 364, 434n.19, 442, 444-482 [第12章 passim], 483-487, 489-490, 490n.2, 491, 499n.10, 501n.12, 506, 508-509, 512n.5, 525, 527n.21, 528, 535n.25, 542-543, 546-549, 552, 555-558, 561, 563, 563n.13
アナクシマンドロス⁽¹⁾ (ミレトスの)
Anaximandros [哲学者 → 第3章] 9, 39, 58n.29, 68-69, 71, 77, 78n.41, 86-87, 88n.53, 98, 102, 111, 133-186 [第3章 passim], 187-188, 188n.1, 189-190, 192, 194, 196, 197n.5, 198, 198-199n.6, 205, 210, 229-232, 254, 277, 309, 315, 330, 336, 375, 431, 453, 459n.10, 477, 480, 487, 526n.18, 551-552, 555, 557
アナクシマンドロス⁽²⁾ (ミレトスの)
Anaximandros [クセノポン*に言及されているピュタゴラス派教理解釈家。ミレトス出身とされるが、不詳] 299
アナクシメネス Anaximenes [哲学者 → 第4章] 7, 9, 17, 20, 77, 79, 102, 124, 124n.15, 138n.6, 152n.13, 164, 166, 168, 177, 182, 187-211 [第4章 passim], 218, 224, 227, 229, 237-238, 260-261, 266, 267n.23, 268n.24, 431, 446n.3, 468, 469n.17, 487, 526n.19, 543-544, 547, 554-556, 557n.10, 558, 563
アナンケ (一) (必然) Ananchē [神] 37, 326, 334-335, 402
アヌ Anu [神] 63-64
アバリス Abaris [神]? [ギリシア北方のスキュティアの宗教者、呪術師。トロイア戦争時代の人も、前7世紀後半の人も伝えられる] 298
アプス Apsu [神] 21n.1, 61, 122
アブデラ Abdēra [地] 505, 507, 509n.2
アプレイウス Apuleius, Lucius [北アフリカのマウダラ出身。後2世紀。著作家、哲学者。『黄金の驢馬』の作者 → 出典個所索引] 134n.1
アプロディシアス Aphrodisias [地] 6, 148,

- 419n.8, 421, 426
 アプロディテ Aphroditē 〔神〕 42n.23, 62, 97, 277, 374, 395-396, 406
 アポピス Apophis 〔神〕 92
 アポロテミス Apollothemis [アポロニアのディオゲネス*の父] 543
 アポロドロス⁽¹⁾ (アルケラオスの父の) Apollodōros [アルケラオス*の父. 不詳] 483-484
 アポロドロス⁽²⁾ (キュジコスの) Apollodōros [キュジコス出身の哲学者. 前4世紀後半か →出典個所索引] 412
 アポロドロス⁽³⁾ (算術家の) Apollodōros [アポロドロス^{(2)*}と同一人か] 424
 アポロドロス⁽⁴⁾ (エピクロス派の) Apollodōros [「庭園の独裁者」とあだ名された同名人物のことか. 不詳] 505
 アポロドロス⁽⁵⁾ (『年代誌』の) Apollodōros [アテナイ出身. 後にアレクサンドリアに移住. 前2世紀. 文献学者. 8ページ参照 →出典個所索引] 8-9, 69, 69n.36, 84n.50, 103n.1, 133-134, 134n.1, 135n.2, 136, 136n.5, 187, 188n.1, 213-214, 237-238, 310, 341, 363-364, 412n.2, 444-445, 490, 505-506, 508
 アポロニア Apollonia 〔地〕 3, 45, 80, 139, 152, 152n.13, 154, 164, 203, 207n.9, 260n.19, 436, 508, 542-544, 544n.2, 546, 556, 557n.10, 558n.10
 アポロニオス⁽¹⁾ (ロドスの) Apollonios [アレクサンドリア出身. 前295頃-215頃. 一時ロドス島に滞在したので, その名がある →出典個所索引] 59, 60n.31, 89-90, 90n.55, 91, 557n.10
 アポロニオス⁽²⁾ (奇譚著作家の) Apollonios [ヘレニズム期の著作家. 不詳 →出典個所索引] 72, 297
 アポロニオス⁽³⁾ (テュアナの) Apollonios [カッパドキアのテュアナ出身. 後1世紀. 各地を放浪し, 奇蹟を示した新ピュタゴラス派の哲学者] 134n.1
 アポロン 〔神〕 32, 274, 297-298, 302n.15, 405
 アメイニ阿斯 Ameinias [前6世紀末のピュタゴラス派. パルメニデス*の師とされているが, 不詳] 310
 アメレス Amelēs 〔神〕 82n.46
 アラトス Aratos [キリキヤ地方ソロイ出身. 前315-240頃. 詩人 →出典個所索引] 112, 117
 アラル Alalu 〔神〕 63-64
 アリスタルコス Aristarchos [サモトラケ島出身. 前217頃-145. アレクサンドリアで活動し, 当地の文献学研究を大成した] 74
 アリステアス Aristeas 〔神〕? [プロコンネソス出身. 前7世紀か. アポロンの弟子と言われ, 多くの奇蹟を顕わした北方の宗教者] 298
 アリストクセノス Aristoxenos [タラス出身. 前4世紀後半. アリストテレス*の弟子. 数理音楽理論にすぐれた哲学者. ピュタゴラス* (派) についての著作があった] 10, 69n.36, 72, 88n.54, 285, 292-294, 297, 302n.15, 303, 412, 412n.1, 439
 アリストクリトス Aristocritos [後5世紀. マニ教徒. 『神智学』を著わした →出典個所索引] 273
 アリストテレス Aristotelēs [スタゲイロス出身. 前384-22. 哲学者 →出典個所索引] 3, 6-7, 10, 25, 28-29, 32-33, 45, 47, 50n.24, 52, 65-66, 68-69, 72, 80, 95, 108, 112, 115, 117-119, 119n.10, 120, 120-121n.11, 123-124, 124n.15, 125-126, 126n.16, 127, 127n.17, 128n.18, 129-130, 135, 140, 143-144, 145n.8, 146, 146n.9, 147-152, 152n.13, 154, 156, 160, 162-163, 165-171, 172n.20, 176, 180n.27, 181-183, 183n.28, 185, 185n.29, 188-189, 194-196, 197n.5, 198-199n.6, 199-201, 204-205, 207-208, 210n.10, 215-216, 218n.1, 223-225, 229-230, 238, 240-244, 248, 254n.15, 255-257, 260,

260n.19, 262n.20, 263, 263-264n.21, 267n.23, 273n.30, 278, 284, 292, 296-298, 298n.11, 299-300, 302-303, 305-306, 308, 311, 331n.16, 343-344, 346, 349-356, 356n.6, 357, 360-361, 363-365, 367, 367n.2, 370, 377, 379n.12, 381, 384, 384n.13, 385-386, 388-391, 393-395, 396n.20, 397, 397n.21, 398-399, 407-408, 411, 412n.1, 413, 415, 415n.5, 416n.6, 418-419, 419n.8, 420, 420n.9, 421-422, 422n.11, 423, 425, 425n.12, 426-427, 429, 429n.15, 429n.16, 430-431, 431-432n.18, 432-434, 434n.20, 435-436, 439, 445, 447, 447n.4, 452n.8, 459, 463, 465, 468n.15, 469n.18, 470n.19, 473-475, 477n.22, 480, 480n.25, 489, 491, 491n.4, 492, 492n.5, 494, 494n.6, 495, 495n.6, 496, 499n.9, 503, 506-507, 509-512, 512n.4, 512n.5, 513n.6, 514, 514n.7, 516, 518n.11, 519, 521n.13, 525n.16, 528-532, 532n.24, 533, 534n.25, 535, 535n.25, 536, 538, 542, 544n.2, 545, 549, 549n.4, 557, 557n.10, 561, 561n.12

アリストパネス Aristophanēs [アテナイ出身。前 450/45-385 頃。最大のギリシア喜劇詩人。→出典箇所索引] 5, 39, 41, 41n.22, 42, 53, 85n.51, 90, 105, 146n.9, 173, 260n.19, 290-291, 299, 508, 543, 561n.12

アリモン Arimon ㊦ 81

アリュアッテス Alyattēs [リュディア王。前 619 (あるいは 605) -560 在位。クロイソス*の父] 69

アルキダマス Alcidamas [小アジアのアイオリス地方エライアの出身。前 4 世紀後半。弁論家で、ゴルギアス*の弟子] 447n.4

アルキッポス Archippos [タラス出身。前 6 世紀後半-5 世紀前半。初期ピュタゴラス派] 294

アルキュタス Archytas [タラス出身。前 5 世紀末-4 世紀後半。ピュタゴラス派の数学者、タラスの政治指導者] 285, 293-294, 424

アルキロコス Archilochos [パロス島出身。

前 7 世紀半ば。最初期の叙情詩人] 245n.6

アルクマイオン Alcmaïōn [クロトン出身。前 6 世紀末。ピュタゴラス派に近い立場の医師。→第 9 章] 158, 233, 337, 417, 428, 428n.14, 429, 429n.15, 436-437, 563

アルクマン Alcman [サルデイス出身。前 7 世紀後半。スパルタで活躍した叙情詩人。→第 1 章第 6 節 (A) →出典箇所索引] 16, 64-68

アルケラオス Archēlaos [哲学者。→第 13 章] 7, 9, 164, 446n.3, 483-487 [第 13 章 passim], 547

アルゴス Argos ㊦ 31n.10, 116, 216

アルテミス Arthemis ㊦ 75n.40, 238, 240

アルノビオス Arnobios [北アフリカのシッカ・ウェネリア出身。後 3 世紀末。初め弁論術教師だったが、キリスト教に転じた。異教徒論駁の書を著わした] 8

アレイオス・ディデュモス Areios Didymos [アレクサンドリア出身。前 1 世紀。折衷派 (ないしストア派) の哲学者。アウグストゥスの師。学説誌的著作があった] 80, 255, 255n.16, 257-258

アレオパゴス Areios pagos ㊦ 296

アレクサンドリア Alexandria ㊦ 4-5, 7-8, 70, 74-76, 83n.47, 85, 115, 117, 135, 241, 413

アレクサンドロス (アプロディシアスの) Alexandros [カリヤ地方アプロディシアス出身。後 2 世紀末-3 世紀初め。アテナイでペリパトス学派を再興、多数のアリストテレス*注釈書を著わした。→出典箇所索引] 6, 140, 148, 182, 231, 355n.3, 356, 359n.8, 396n.20, 397, 416n.6, 419n.8, 421, 426, 428n.14, 446, 531, 536, 557, 558n.10

アレス Arēs ㊦ 97, 406

アンキテス Anchitēs [パウサニアス*の父] 368

アンティステネス (ロドスの) Antisthenēs [ロドス出身。前 200 頃。『ロドス史』『学統誌』を著わした] 239n.2, 510n.3, 543

アンティポン Antiphōn [プラトン*の異父

- 弟] 309
 アンドロクロス Androclos 〔神話伝説上
 アテナイ王コドロスの子で、エペソスの建
 国者〕 239n.2
 アン드로ン (エペソスの) Andrōn [エペソス
 (あるいはハリカルナッソス) 出身。前 4
 世紀の歴史著作家] 72
 アンモニオス (ヘルメイアスの子の)
 Ammōnios [アレクサンドリア出身。後
 500 頃。アレクサンドリア学派のプラトン
 主義哲学者 →出典箇所索引] 399
 イアソス Iasos 〔地〕 128n.19
 イアペトス Iapetos 〔神〕 51
 イアンブリコス Iamblichos [コエレ・シリア
 のカルキス出身。後 250 頃-325 頃。新プ
 ラトン派の哲学者。ボルピュリオス*に学
 び、後にシリアに学園を開いた →出典個
 所索引] 5, 285, 292-294, 297, 298n.11, 301,
 301n.14, 302, 304-306, 413-414, 420n.9, 425,
 426n.13, 432n.18, 437-438
 イオニア Iōnia 〔地〕 68, 68n.35, 75n.40, 99, 102,
 104n.2, 105, 109-110, 112, 139, 183-184,
 187-188, 190, 206, 214, 216, 242n.4, 244,
 245n.5, 257, 280-281, 286, 312, 425, 470,
 483, 490n.2, 506, 509n.2
 —派 Ionicoi 7, 39, 59n.30, 60, 102, 181,
 199, 211, 216-217, 280, 442, 526-527, 542
 イオン (キオスの) Iōn [前 490 頃-425 頃。
 主としてアテナイで活動した悲劇その他の
 詩人。散文による自然学的著作があった]
 72-73, 286-287, 289, 290n.7, 484n.2, 499n.9
 イシドロス (ゲノーシス派の) Isidōros [ア
 レクサンドリア出身。後 3 世紀半ば。ゲ
 ノーシス派のバシレイデス*の子] 85,
 88-89n.54
 イシュタル Ishtar 〔神〕 80
 イタゲネス Ithagēnēs [メリッソス*の父]
 489
 イタノス Itanos 〔地〕 76
 イタリア Italia 〔地〕 43, 214, 280-281, 292-297,
 300, 311, 432
 —派 Italicoi 7, 304, 419
 イリオン Ilion 〔地〕 506 →トロイア
 イルヤンカ Illuyanka 〔神〕 92
 インド India 〔地〕 510n.3
 ウァロ Varro [サビニウム地方レアテ出身。
 前 116- 前 27。共和制ローマ末期の学者、
 文人] 9
 ウウラノス Ouranos 〔神〕 17-18, 26, 28-29, 35,
 35n.13, 38-40, 46-47, 50-52, 52n.26, 53, 55,
 55n.28, 58n.29, 62-63, 79, 91, 97, 480n.24
 ウェルギリウス Vergilius [北イタリアのア
 ンデス (マントヴァ近郊) 出身。前 70- 前
 19。ローマの国民的詩人 →出典箇所索
 引] 79n.42
 ウガリット Ugarit 〔地〕 92
 ウペルリ Upelluri 〔神〕 61
 エイレナイオス Eirēnaios [小アジア出身。
 後 130 頃-202 頃。主としてガリア地方で
 活動したキリスト教思想家] 7
 エウクレイデス Eucleidēs [前 300 頃。アレ
 クサンドリアで活動した数学者。『幾何学
 原論』で知られる] 424
 エウセビオス Eusebios [パレスティナ出身。
 後 264 頃-315。カエサリアの司教。歴史家、
 教会史家 →出典箇所索引] 7, 9, 37n.17,
 58n.29, 69n.36, 72, 92, 103n.1, 255, 386-387,
 521n.13
 エウデモス (ロドスの) Eudēmos [前 4 世
 紀後半。アリストテレス*の友人、弟子。
 『自然学』『数学史』『天文学史』などを
 著わした →出典箇所索引] 6, 25, 29-30,
 30n.8, 34n.11, 35, 38, 40, 79, 106, 109-111,
 113-115, 117, 138n.6, 203n.8, 308, 359n.8,
 381, 424-425, 426n.13, 470n.19
 エウドクソス Eudoxos [クニドス島出身。前
 390 頃-340 頃。数学者、天文・地理学者。
 一時アカデメイアでも活動] 154
 エウプロニエ (夜) Euphroniē 〔神〕 46-47
 →ニュクス
 エウリピデス Euripidēs [アテナイ出身。前
 480 頃-406。三大悲劇詩人の一人 →出

- 典個所索引] 5, 20, 53, 57, 59, 155n.14, 173, 219, 260n.19, 290-291, 446-447n.3
- エウリュストラトス Eurystratos [アナクシメネス*の父] 187, 189, 206
- エウリュトス Eurytos [前5世紀後半のピュタゴラス派] 412, 423
- エウリュノメ Eurynomē 神 89-91, 94
- エウリュロコス Eurylochos [不詳. エリスのピュロンの弟子に同名人物がいる] 505
- エオス Eōs 神 22, 75n.40
- エキドナ Echidna 神 91n.56, 92n.57
- エクサミュエス Examyēs [タレス*の父] 104, 104n.2
- エーゲ海 Aigaïos pontos 地 21
- エケクラテス Echecratēs [プレイウス出身. 前4世紀のピュタゴラス派] 412, 436, 436n.21
- エジプト Aigýptos 地 16, 20-21, 21n.1, 23, 25n.6, 27, 44, 60, 75n.39, 79, 92, 102, 106-107, 110, 113, 114n.9, 117, 122, 122n.13, 123-124, 130, 288-290, 510n.3
- エシャラ Esharra 神 61
- エチオピア Aithiopia 地 220, 510n.3
- エトナ (山) 地 →アイトナ (山)
- エパメイノンダス Epameinōndas [テバイ出身. 前362歿. 政治家, 軍人. ピュタゴラス派のリュシス*の弟子] 294
- エピカルモス Epicharmos [シケリア島(シュラクッサイ出身か)の喜劇詩人. 前5世紀前半 →出典個所索引] 77, 213-214, 216
- エピクロス Epicouros [サモス島出身. 前341-270. アテナイに学園を開いた. 原子論者 →出典個所索引] 164, 505-506, 509, 520, 520n.12, 521n.13, 523n.15, 528, 530, 532, 532n.24, 536, 542
——派 Epicoureioi 5, 9-10, 505
- エピゲネス Epigenēs [アレクサンドリア出身. 前3世紀頃. 文法家, 著作家] 289, 290n.7
- エピバニオス Epiphanios [パレスティナ出身. 後4世紀前半. キュプロス島サラミ
- スの司教. 著作に『異端派論駁』がある] 486
- エピメニデス Epimenidēs [クレタの宗教家. 多くの奇蹟を行なった. 前600頃とも前500頃とも伝えられる] 29-30, 30n.8, 31, 31n.9, 33, 38, 40, 68, 213-214, 296, 298
- エペソス Ephesos 地 71-72, 75n.39, 102, 237-239, 239n.2, 241-242, 242n.4, 276n.33
- エラトステネス Eratosthenēs [キュレネ出身. 前276頃-196頃. アレクサンドリアで活動した文献学者. 地理学者, 数学者としても事績が多い] 8, 138, 187, 363, 508
- エリウン Eliun 神 58n.29
- エリドゥ Eridu 神 122
- エリニユス Erinys 神 62, 263
- エリュトラ海 (紅海) Erythra thalassa 地 510n.3
- エル Er 神 37n.17
- エレア Elea 地 214-216, 309-310, 341, 361, 505-506
——派 Eleaticoi 9, 52, 211, 213-216, 225, 278, 280, 341, 348, 360, 415n.5, 416, 416n.7, 417, 429, 431, 439, 442, 451, 475, 496, 502n.13, 503, 506, 512, 512n.5, 513n.6, 514n.7, 515, 518, 520, 542
- エレウシス Eleusis 地 48, 306, 450n.7
- エレウテルナ Eleutherna 地 543n.1
- エレボス (闇) Erebos 神 18, 37, 37n.18, 39, 41, 50, 51-52, 58, 81
- エロース Erōs 神 37n.16, 39-42, 42n.23, 50, 50n.24, 51-52, 55, 55n.28, 84-85, 85n.51, 86, 334
- エロヒム Elohim 神 63n.33
- エンケラドス Encelados 神 86n.52
- エンペドクレス⁽¹⁾ (エンペドクレス⁽²⁾の祖父) Empedoclēs [エンペドクレス^{(2)*}の祖父] 363
- エンペドクレス⁽²⁾ (アクラガスの) Empedoclēs [哲学者 →第10章] 3, 5, 7, 9, 20, 97, 147, 158-159, 162, 169, 172n.20, 193, 197n.5, 198, 202, 203n.8, 206-207n.9,

238, 256n.17, 262n.20, 267n.23, 280, 287-289, 303, 337-338, 360, 363-410 [第10章 passim], 411, 434n.19, 442, 445-447, 452n.8, 453, 458, 460, 463-465, 469, 469n.18, 470, 482, 486-487, 491, 499n.10, 501n.12, 511, 512n.5, 528, 537, 542, 548-549, 558, 558n.10, 563, 563n.13

オイノピデス Oinopidēs [キオス島出身。前5世紀後半。幾何学者、天文学者] 109, 111, 138n.6

オケアノス Ōceanos 神 15, 19-21, 21n.2, 22, 22n.3, 23, 23n.4, 24-30, 40, 46-47, 50, 52, 52n.26, 53, 67, 79, 83, 83n.49, 84-85, 87-91, 91n.56, 93-94, 122-123, 125, 127n.17, 139, 176, 203, 264

オゲノス (オーゲーノス) Ōgēnos/Ōgenos 神 79, 83, 83n.47, 83n.49, 84, 88-89, 93, 96

オデュッセウス Odysseus 神 98

オトリュス (山) Othrys 神 54

オノマクリトス Onomacritus [アテナイ出身。前6世紀半ば。オルペウス教と関係のあった宗教家、神託解釈者] 31n.9

オピオネウス Ophioneus 神 73, 81, 86, 89-92, 92n.57, 93-95

オピオン Ophiōn 神 89-91, 93

オラノス Oranos 神 43-44 →ウウラノス

オリオン Ōriōn 神 75n.40

オリゲネス Ōrigenēs [アレクサンドリア出身。後185/86-254/55。ギリシア教父 →出典個所索引] 5, 9, 86n.52, 89-90, 250n.10, 253

オリュンボス (山) Olympos 神 18, 36n.13, 49n.24, 89-90, 160, 222n.6, 225, 274

オルコメノス Orchomenos 地 104n.2

オルテュギエ Ortygiē 神 74-75, 75n.39, 75n.40

オルトメネス Orthomenēs [クセノパネス*の父] 213

オルビア Olbia 地 44, 271n.28, 274n.31

オルペウス Orpheus 神 [伝説上トロイア戦争以前のトラキアの王族。音楽に長じてい

た →第1章] 16, 26, 29, 31n.9, 32-33, 35, 35n.12, 38, 41n.21, 45-46, 48-49, 60n.31, 89, 90n.55, 289-290, 290n.7

——教 26-27, 29-30, 30n.7, 32-34, 34n.11, 35, 35n.12, 35n.13, 36, 36n.14, 36n.15, 37, 37n.16, 37n.17, 38-41, 41n.21, 41n.22, 42-46, 48, 60n.31, 78n.41, 81, 90n.55, 96, 127n.17, 174, 271n.28, 274n.31, 289-291

カ行

ガイア Gaia 神 23, 26, 29, 35, 35n.13, 38, 43-44, 49-51, 51n.25, 52, 52n.26, 53, 55, 62-64, 78n.42, 81, 91, 94, 97, 480n.24 →ゲー

カウロニア Caulōnia 地 297

カオス Chaos 神 28, 30, 31n.10, 32, 36, 36n.14, 37, 37n.18, 39, 41-42, 47-54, 54n.27, 55-58, 58-59n.29, 61, 63, 67, 77, 79, 82n.46,

カシオス (山) Casios 地 92

カタネ Catanē 地 213

カドモス Cadmos 神 [神話伝説上テバイの建国者] 84n.50, 104, 104n.2

カリア Caria 地 104n.2

カリ阿斯 Callias [前456のアテナイのアルコーン (政務長官)] 444-445

カリ阿德ス Calliadēs [前480のアテナイのアルコーン (政務長官)] 445

カリストー (優美) Callistō 神 404

カリッポス Callippos [キュジコス出身。前330頃。アリストテレス*の学園に合流した天文学者。エウドクソス*の同心円天球理論を改良した] 154

カリマコス Callimachos [キュレネ出身。前305頃-240頃。アレクサンドリアで活動した詩人、文献学者 →出典個所索引] 70, 112, 115-116, 413

カリュブソ Calypsō 神 154

カリロエ Calliroē 神 91n.56

カルキディウス Chalcidius (正しくは Calcidius) [後4-5世紀か。プラトン*『ティ

マイオス』のラテン訳と注解のみで知られる →出典個所索引] 50n.24, 267n.24, 270n.27

カルキディケ Chalcidicē 〔地〕 412

カルダイア Chaldaia 〔地〕 510n.3

ガレノス Galēnos [ペルガモン出身。後 130 頃 -200 以降。主としてローマで活動した理論派ないし折衷派の医師で、多数の医学書を著わした →出典個所索引] 5, 8, 202n.7, 284n.1, 336, 365, 517, 521n.12, 545-546

キオス Chios 〔地〕 72, 108, 111, 286, 289, 484n.2, 499n.9, 527n.20

ギガス (巨人) Gigas 〔神〕 62, 81

キケロ Cicero, Marcus Tullius [ローマ出身。前 106- 前 43。ローマの文人、政治家 →出典個所索引] 9, 69n.36, 108, 128n.18, 139n.7, 164, 165n.18, 192, 195, 196-197n.5, 239, 334, 505, 507

キティオン Cition 〔地〕 50n.24, 52, 243

キマイラ Chimaira 〔神〕 322

キュジコス Cyzicos 〔地〕 7, 412

キュドイモス (関の声) Cydoimos 〔神〕 406

キュプリス Cypris 〔神〕 389, 406 →アプロディテ

キュリロス (アレクサンドリアの) Cyrillos [エジプト出身。?- 後 444。アレクサンドリアの大司教] 8

キュロス Cyros [アケメネス朝を創建したペルシア王。前 559-529 在位] 69, 187, 213-214

キュロン Cylōn [クロトンの有力者。ピュタゴラス* (派) と争って彼らを追放した] 292, 294

キリキア Cilicia 〔地〕 81, 92

ギンヌンガ Ginnunga 〔神〕 54n.27

クストス Xouthos [不詳。キオスのイオン* の父か。当該個所参照] 499n.9

クセノクラテス Xenocratēs [カルケドン出身。前 396/95-314/13。プラトン* の弟子で、アカデメイアの第三代学頭 →出典個所索

引] 283, 303, 512n.4

クセノパネス Xenophanēs [哲学者 →第 5 章] 9, 19, 102, 109, 112n.8, 119, 129, 136n.3, 145, 164, 183, 183n.28, 184, 196, 198, 211, 213-235 [第 5 章 passim], 237, 238n.1, 245n.6, 249, 252n.12, 260-261, 270n.26, 274, 280, 285, 288-289, 309, 309n.1, 310-311, 382, 408, 417, 498, 505

クセノピロス Xenophilos [トラキア地方カルキディケ出身。前 4 世紀のピュタゴラス派] 412

クセノポン Xenophōn [アテナイ出身。前 430 頃 -355 頃。軍事的経歴ののち著作活動に入った。ソクラテス* の仲間に数えられる。多数の作品が伝存している →出典個所索引] 299, 450n.7

クセルクセス Xerxēs [ペルシア王。前 486-465 在位] 444, 510n.3

クトニエ (一) Chthoniē 〔神〕 70, 76-77, 78n.42, 79-80, 82-86, 93-95, 404

グノーシス派 Gnōsticōi 85, 89n.54

クマルビ Kumarbi 〔神〕 47, 63, 63n.34, 64

グラウコス Glaucos [レギオン出身。前 400 頃。詩人論、音楽論などを著わした] 363

グラウコン Glaucōn [プラトン* の兄で、『国家』の登場人物] 282

クラゾメナイ Clazomenai 〔地〕 364, 444-445, 446n.3, 448, 471

クラテュロス Cratylus [アテナイ出身。前 5 世紀後半。ヘラクレイトス主義者] 242, 242n.4, 243, 257-258

クリオス Crios 〔神〕 51

クレアンテス Cleanthēs [アッソス出身。前 331-232 頃。初期ストア派哲学者。キティオンのゼノン^四* の弟子で学園の後継者 →出典個所索引] 10, 255n.16, 265n.22

クレオストラトス (テネドスの) Cleostratos [前 6 世紀後半。自然学者、天文誌家] 116-117

クレオボウリネ Cleoboulinē [タレス* の母] 104

クレオン Cleôn [アテナイ出身. 前5世紀後半. アテナイの民衆派政治指導者] 444
 グレゴリオス (ナジアンゾスの) Grēgorios [カッパドキア地方のナジアンゾス出身. 後330頃-390頃. バシレイオスと親しく, 各地の司教を歴任] 464
 クレタ Crētē 地 43, 76, 91, 295, 543, 543n.1
 クレメンス (アレクサンドリアの) Clemens [アテナイ出身か. 後150頃-215頃. ギリシア教父 →出典箇所索引] 4-5, 10, 83n.47, 85, 89n.54, 127n.17, 213, 220, 220n.2, 221, 252n.12, 259, 259n.18, 265-266, 268, 270, 273, 276n.33, 289, 319n.7, 334, 339, 387, 399-400, 403-405, 412n.2
 クロイソス Croisos [リュディア王. アリュアッテス*の子で, 前560-546在位] 105-106
 クロト Clōthō 神 38
 クロトン Crotôn 地 120n.11, 288, 292-297, 302n.15, 304, 337, 411, 412n.1, 413, 428-429, 429n.15, 431n.17
 クロノス Cronos 神 23, 24n.5, 26-27, 34n.11, 37n.17, 41, 41n.21, 46-47, 51n.25, 55, 62-64, 73, 77-78, 78n.41, 79, 81, 82n.46, 89-91, 93-95, 305, 307, 406-407
 クロノス Chronos 神 [時間の神格化] 35-36, 36n.14, 36n.15, 37, 37n.18, 38-39, 41, 41n.21, 70, 71n.37, 76-78, 78n.41, 79, 79n.43, 80-82, 82n.46, 90-96
 ゲー (大地) Gē 神 26, 38, 38n.19, 39-40, 76, 78n.42, 79, 81, 83, 83n.47, 84, 94-95, 160
 →ガイア
 ケドレヌス Cedrēnos [後11世紀. ビュザンティオンの歴史家] 180-181n.27
 ケブ Keb 神 61
 ケベス Cebēs [テバイ出身. 前5世紀末. ピュタゴラス派のピロラオス*に学んだ] 411-412, 438
 ケラメイコス Cerameicos 地 309
 ゲリウス Gellius, Aulus [ローマ出身. 後130頃-180頃. ローマの文人 →出典箇所索

引] 408
 ケルコプス Cercōps [ピュタゴラス派. 不詳] 289
 ケルスス Celsus [後1世紀前半. 未詳の百科事典的著作家 →出典箇所索引] 365
 ケルソス Celsos [後2世紀後半. プラトン派哲学者. キリスト教への批判書を著わした] 86n.52, 89-90, 93-94
 ケンソリヌス Censorinus [ローマ出身. 後3世紀. ラテン文法学者 →出典箇所索引] 9, 184
 ケンタウロス Centauros 神 34n.11, 322
 コイオス Coios 神 51
 コイリロス (イアソスの) Choirilos [カリア地方イアソス出身. 前4世紀後半に活動し, アレクサンドロス大王に侍した叙事詩人とされるが, KRSは前3-2世紀の人とする] 128n.19
 コサス (河) Cosas 地 297
 コリントス Corinthos 地 412
 ゴルギアス Gorgias [レオンティノイ出身. 前483頃-376頃. 弁論術に秀でたソフィストの代表者] 135n.3, 361, 364, 415n.5, 491n.3
 コルキス Colchis 地 75n.40
 ゴルディアス Gordias 神 542
 コロボン Colophôn 地 102, 213-214, 216, 217n.1, 237

サ 行

サグラ Sagra 地 295
 ザース Zas 神 70, 76-77, 78n.42, 79n.43, 80, 82-83, 83n.47, 84-86, 88, 91, 93-95 →ゼウス
 サテュロス Satyros [ボントスのカラティス出身. 前3世紀. アレクサンドリアで活動したペリバトス派の歴史家, 伝記作家] 364, 444, 446
 サモス Samos 地 71, 115-116, 120n.11, 133, 282, 286, 292-293, 484n.2, 489, 547

サルディス Sardis 〔地〕 8, 102, 103n.1, 110, 110n.5, 130, 134, 187, 188n.1
サルモクシス Salmoxis 〔神〕[伝説上トラキアの神あるいは宗教者。魂不死説においてピュタゴラス*と関連] 286-287
サンクニアトン Sanchuniathon 〔神〕? [半ば伝説的な(トロイア戦争以前の)古代フェニキアの歴史著作家] 37n.17, 58n.29
ザンクレ Zancle 〔地〕 213
サンドン Sandon 〔前1世紀の著作家 →当該箇所] 37n.17
シケリア(シチリア) Sicelia 〔地〕 213-214, 231-232, 280, 296, 306, 311, 413
シミアス Simmias 〔テバイ出身。前5世紀末。ピュタゴラス派のピロラオス*に学んだ] 412
シモニデス Simōnidēs 〔ケオス島イウウリス出身。前556頃-468。叙情詩人, エレゲイア詩人] 214
シュ Shu 〔神〕 60-61
シュバリス Sybaris 〔地〕 280
シュラクウサイ Syracousai 〔地〕 75n.39, 214, 230, 363
シュリア(シリア) Syria 〔地〕 75n.40, 185
シュリアノス Syrianos 〔アレクサンドリア出身。後4世紀後半-440頃。アカデメイアに学び, 学頭となる。プロクロス*の師] 36n.14
シュリエ Syrië 〔神〕 74-75, 75n.39, 75n.40
シュロス Syros 〔地〕 16, 34n.11, 41, 48, 52, 68, 70-72, 74-75, 75n.39, 76, 80n.45, 83n.47, 85
新プラトン派, 新プラトン主義(者) 3, 5, 25n.6, 34-35, 35n.12, 36, 39, 39n.19, 40, 40n.20, 85, 426n.13
シンブリキオス Simplicios 〔小アジアのキリキヤ地方出身。後6世紀前半。古代末期の新プラトン主義哲学者。アリストテレス*などへの膨大な注解書を著わした →出典個所索引] 3, 5-6, 10, 114, 116-117, 119n.10, 124n.15, 139-144, 148, 150, 155, 164, 166, 167n.19, 170-172, 172n.21, 173,

188-190, 191n.2, 194, 197n.5, 215-216, 217n.1, 221, 229, 259n.18, 260, 262n.20, 308, 311, 313, 314n.3, 314n.4, 316, 319, 319n.7, 322, 322n.8, 323, 325-327, 327n.13, 329-331, 331n.16, 332-334, 339, 344-347, 355n.2, 355n.3, 356, 359n.8, 364, 371, 372n.6, 374, 378-379, 381-382, 385, 389-391, 394, 427, 434n.20, 449, 449n.6, 450-451, 453-454, 456-459, 459n.10, 460, 463, 465-467, 469n.17, 470n.19, 472-477, 484, 490-492, 492n.5, 493-495, 495n.6, 496, 496n.7, 498, 498n.8, 499n.9, 500, 502, 502n.13, 503n.14, 505, 507, 512n.4, 514n.7, 519-520, 520n.12, 521n.13, 525n.18, 528-531, 533, 544, 544n.2, 545-548, 549n.4, 550-553, 553n.8, 554, 560, 562
スキュティノス Scythinos 〔テオス島出身。前4ないし3世紀。イアンボス詩人] 272
スキュレス Scylēs 〔スキュティア(スキタイ)の王。前5世紀前半か] 44
スケリア(の岩場) Scelia 〔神〕 98
スコトス(闇) Scotos 〔神〕 67
ステシコロス Stēsichoros 〔シケリア島マタウロス出身。主としてヒメラで活動した叙情詩人。前6世紀末-5世紀半ば。『スーダ』によれば, 実の名はティシアス →出典個所索引] 23, 78n.42
ステシプロトス Stēsimbrotos 〔タソス島出身。前5世紀。アテナイで活躍した詩人, 歴史家] 489-490, 490n.2
ステパノス(ビュザンティオンの) Stephanos 〔ビュザンティオン出身。後5ないし6世紀。ギリシア語文法学者] 83n.49, 543n.1
ステュクス Styx 〔神〕 24n.5, 25, 82n.46
ストア派 Stoicoi 5, 9-10, 39, 52, 79-80, 82n.46, 85, 121n.12, 128n.18, 128n.19, 196, 197n.5, 241, 243, 259n.18, 261n.20, 265n.22, 267n.23, 269-270, 270n.26, 270n.27
ストバイオス Stobaïos 〔ヨハネス・ストバイオス。マケドニアのストボイ出身。後

4 世紀後半 -5 世紀初め頃. 息子の教育用に全 4 巻の「ギリシア著作抜粋集」を作成した →出典個所索引] 4-5, 8, 50n.24, 126n.16, 164, 197n.5, 217, 233, 247, 266, 275, 398, 404, 414, 416-417, 420n.10, 430, 439, 538-539

ストビ (ストボイ) Stoboi 地 539

ストラボン Strabōn [ポントスのアマシア出身. 前 64/63- 後 24 以降. ローマおよびアレクサンドリアで活動した歴史家, 地理誌家 →出典個所索引] 5, 19, 138, 239n.2, 446n.3

ストロンボリ (火山) Strongylē 地 230

スパルタ Sparta 地 65-66, 68, 71, 133, 137-138, 138n.6, 139, 139n.7, 295 →ラケダイモン

スピントロス Spintharos [タラス出身. 前 4 世紀. アリストクセノス*の父] 293

スペウシッポス Speusippos [アテナイ出身. 前 407 頃 -339 頃. プラトン*の甥で, アカデメイアの後継者. プラトンの数理哲学的側面を重視した] 283, 310

スミュルナ Smyrna 地 7, 109

ズラン・アカラナ Zuran Akarana 神 34n.11, 78n.41

セイレン Seirēn 神 302-303

ゼウス Zeus 神 18-19, 23-24, 24n.5, 27-28, 37n.16, 46-49, 53, 64, 73, 77-78, 78n.42, 79n.43, 81, 84-85, 85n.51, 88-93, 95, 97, 222n.6, 223n.7, 265-266, 271n.28, 306-307, 370-371, 406, 433, 448

セクストス・エンペイリコス Sextos

Empeiricos [出生地不詳. 後 2 世紀後半に活動. 経験派の医師で, ピュロン主義 (懐疑主義) 哲学者 →出典個所索引] 4, 50n.24, 82n.46, 217, 219, 221, 229, 232, 244-245, 246n.7, 268-269, 270n.26, 270n.27, 284, 303n.16, 311-312, 314, 314n.3, 321, 353, 361, 368-369, 369n.4, 407, 432n.18, 467n.12, 481, 515-516, 516n.8, 516n.9, 517, 525n.17

セト Sēth 神 92

——派 Sethianoī 89n.54

セネカ (小・哲学者の) Seneca, Lucius

Annaeus [スペインのコルダバ出身. 前 4 頃 - 後 65. ローマで活動したストア哲学者. 著作家, 政治家 →出典個所索引] 123n.14, 181

ゼノン⁽¹⁾ (エレアの) Zēnōn [哲学者 →

第 9 章] 145, 280, 309-310, 341-362 [第 9 章 passim], 411, 447, 453-454, 454n.9, 455-456, 462, 491, 491n.4, 501, 502n.13, 503, 503n.14, 506, 508, 513, 542

ゼノン⁽²⁾ (キティオンの) Zēnōn [キュプロス島キティオン出身. 前 334-262. ストア派哲学の創始者] 50n.24, 52, 80, 243, 255n.16

セム Sem 神 34n.11, 61, 91, 104n.2

ソクラテス Sōkratēs [アテナイの哲学者. 前 470 頃 -399] 257, 278, 282, 309-310, 342, 360, 411-412, 447-448, 449n.6, 470n.19, 483, 483n.1, 484, 484n.2, 487n.10, 506, 539-540, 541 訳注, 552, 561n.12, 563

ソティオン Sōtīōn [アレクサンドリア出身. 前 200 頃. ペリパトス派の哲学者. 『哲学者たちの系譜』が重要] 7-8, 135n.2, 238n.1, 309-310, 444, 506

ゾロアスター Zōroastrēs [ペルシアの宗教家, 予言者. バクトリアでゾロアスター教を創始. 年代については前 15 世紀頃から前 7-6 世紀にわたる諸説がある. 前 5 世紀にはギリシアでも知られていた] 73, 88-89n.54

ソロン Solōn [アテナイ出身. 前 640 頃 -560 頃. アテナイ民主制の基礎を築いた立法家, 政治家. 政治思想をエレゲイアなどの詩にうたった →出典個所索引] 78n.41, 106, 110n.5, 159-160, 223n.7, 265n.22, 277

タ行

ダマシアス Damasias [前 582/81 のアテナイのアルコーン (政務長官)] 103n.1

ダマシッポス Damasippos [デモクリトス*

の父?」 505

- ダマスキオス⁽¹⁾ Damascios [前 582/81 年の
アテナイのアルコーン (政務長官)] 69
- ダマスキオス⁽²⁾ Damascios [ダマスコス出身。
後 6 世紀前半. 新プラトン派の哲学者 →
出典個所索引] 25n.6, 29, 30n.8, 31, 31n.10,
34, 34n.11, 35-36, 36n.15, 37, 37n.17, 37n.18,
40, 71n.37, 76, 79
- ダマスコス Damascos 地 544n.2
- タラス (タレントウム) Taras (Tarentum) 地
292, 294, 412, 412n.1
- タルソス Tarsos 地 37n.17
- タルタロス Tartaros 地 18, 24n.5, 26, 29-32,
39-41, 41n.22, 42, 50-51, 55-58, 86n.52,
87-88, 88n.53, 90-91, 95, 228-229, 306
- ダレイオス (一世) Dareios I [ペルシア王。
前 521-486 在位] 213-214
- タレス Thalēs [哲学者 →第 2 章] 6,
9, 15-17, 20, 25n.6, 68-69, 82n.46, 102,
103-131 [第 2 章 passim], 133-134,
134n.1, 135, 135n.3, 137-138, 138n.6, 141,
143, 145, 151, 153, 164, 177, 187, 190, 192,
199, 210, 213-214, 224, 229, 231, 240, 260,
436
- ツェツェス Tzetzés [ヨハネス・ツェツェス。
ビュザンティオン出身。後 1110 頃-80 頃。
きわめて博学の古典文献学者 →出典個所
索引] 3, 366n.1, 491
- ティアマト Tiamat 地 21n.1, 61, 92, 96, 122
- ディオカイタス Diachaitas [ピュタゴラス派
のアメイニ阿斯*の父] 310
- ディオクレス Dioclês [プレイウス出身。前
4 世紀半ば。ピュタゴラス派] 412
- ディオゲネス (アポロニアの) Diogenēs [哲
学者 →第 16 章] 3, 45, 80, 152, 152n.13,
154, 164, 166, 182, 188, 197n.5, 203-204,
207n.9, 210n.10, 211, 231, 260n.19, 436, 442,
508, 542, 543-564 [第 16 章 passim]
- ディオゲネス・ラエルティオス Diogenēs
Laertios [キリキヤ地方のラエルテ出身。
後 3 世紀前半か。著作『哲学者列伝』の

みが知られる →出典個所索引] 4, 6-7,
9-10, 69n.36, 70, 72, 74, 76, 103n.1, 104,
109, 111, 111n.7, 112-113, 114n.9, 115-116,
125, 128n.19, 133, 136, 138, 187, 188n.1, 189,
206n.9, 213-214, 216-217, 221n.3, 237-238,
238n.1, 239, 239n.2, 240-241, 251-252n.11,
263-264, 264n.21, 265-266, 272, 275, 284n.1,
285-286, 288, 290n.7, 292-293, 299-300,
302n.15, 308-309, 309n.1, 310-311, 341, 353,
360, 363-365, 366n.1, 368, 370, 400-401,
408, 412, 412n.1, 413-415, 420n.9, 423,
429n.15, 444, 448, 469n.17, 479, 479n.23,
480, 483, 484n.2, 485n.5, 486n.7, 487n.10,
490-491, 505-508, 510n.3, 514n.7, 522,
523n.15, 524n.16, 526, 526n.19, 530, 543-544,
550n.5

ディオドロス (シケリアの) Diodōros [シケ
リア (シチリア) 島のアギュリオン出身。
前 1 世紀後半-後 1 世紀初め。歴史家 →
出典個所索引] 59, 59n.30, 72, 509n.2

ディオドロス・クロノス Diodōros Cronos
[前 300 頃。カリヤ地方イアソス出身。ス
トアのゼノン⁽²⁾*およびアカデメイア派の
カルネアデスの師] 353, 361

ディオニュシオス⁽¹⁾ (二世, シュラクウサイ
の) Dionysios [シケリア島シュラクウサイ
の僭主 (前 367 年から)。ディオオン*らと
の確執が長くつづいた] 413

ディオニュシオス⁽²⁾ (アレクサンドリアの)
Dionysios [後 3 世紀 (264 頃歿)。アレク
サンドリアの司教。大ディオニュシオス]
521n.13

ディオニュソス Dionysos 地 32, 44, 47,
271n.28, 273-274, 274n.31

ディオパイテス Diopeithēs [前 5 世紀後半。
ペリクレス*時代の狂信的宗教家] 446,
446n.2

ディオオン (シュラクウサイの) Diōn [シケリ
ア島シュラクウサイ出身。前 408 頃-354。
僭主ディオニュシオス二世⁽¹⁾*の叔父で、
プラトン*と親交があった] 413

ディカイアルコス Dikaiarchos [メッセネ出身。前4世紀後半-3世紀初め。ペリパトス派] 72, 285, 295-296, 308
 ディクテ (の洞窟) Dictē ㊦ 90
 ディケー Dicē ㊦ 263-264, 313, 323, 335
 ティタン／ティーターン Titan ㊦ 24n.5, 26-27, 31, 40, 40n.20, 41, 44, 51, 51n.25, 53-54, 57, 89, 387
 ティマイオス (タウロメニオンの) Timaios [前356頃-260頃。タウロメニオンの有力者だったが、追放され、後半生はアテナイで弁論術や哲学を学び、シケリア史を著わした] 213-214, 285, 296, 365
 ティマルコス Timarchos [前4世紀半ばのアテナイの有力政治家] 449n.7
 ティモン Timōn [プレイウス出身。前320頃-230頃。エリスのピュロンの弟子。懷疑主義哲学者 →出典箇所索引] 217, 222n.4, 239
 デウカリオン Deucaliōn ㊦ 162, 184, 231
 テオス Teōs ㊦ 105
 テオドレトス Theodōrētōs [小アジアのアンティオキア出身。後4世紀末-5世紀前半。キュルスの司教、キリスト教教父] 8
 テオドロス (キュレネの) Theodōros [前460頃-4世紀前半。数学者] 107
 テオプラストス Theophrastos [レスボス島エレスソ出身。前371頃-287頃。哲学者。アリストテレス*の弟子で、師の学園リュケイオン (ペリパトス派) の後継者 →出典箇所索引] 6-10, 114-116, 119, 119n.10, 121n.11, 121n.12, 123n.14, 124n.15, 125, 128n.18, 135, 135n.2, 136, 139-145, 145n.8, 146, 150, 154-156, 156n.15, 157, 157n.16, 160-166, 168-171, 172n.21, 173-174, 181-182, 187-188, 188n.1, 189-191, 191n.2, 192-196, 197n.5, 198, 200, 205, 215-217, 218n.1, 224-226, 240, 242-243, 247n.8, 251-252n.11, 255, 260, 261-262n.20, 263, 263-264n.21, 264, 309, 309n.1, 311, 337, 364, 367, 371, 397-398, 407, 459n.10, 469n.17,

480-481, 485, 485n.5, 505, 507-509, 514n.7, 520, 521n.13, 527-529, 532n.24, 536-537, 537n.26, 538, 543, 546-547, 549n.4, 550, 550n.5, 555, 558, 560
 テオポンポス Theopompos [キオス島出身。前378頃-4世紀末。イソクラテスの弟子の歴史家] 70-72
 テオン (スミュルナの) Theōn [イオニア地方のスミュルナ出身。後2世紀前半に活動。プラトン派の哲学者で、天文学・占星術にも長じていた →出典箇所索引] 109
 デクシオス Dexios [クセノパネス*の父] 213
 テッサリア Thessaria ㊦ 139n.7
 テティス Thetis ㊦ 65-68
 テテュス Tēthys ㊦ 23, 25-27, 29-30, 91
 デーナイエー (遅滞) Dēnaiē ㊦ 404
 テネドス Tenedos ㊦ 116
 テバイ Thēbai ㊦ 294, 411-412
 テホム Tehom ㊦ 122
 テミスティオス Themistios [小アジアのパブラゴニア地方出身。後317頃-388頃。ビュザンティオンとローマで活動。弁論家、哲学者。アリストテレス*の全著作への注解を著わした →出典箇所索引] 135n.3, 167n.19, 251
 テミストクレイア Themistocleia [ピュタゴラス*時代のデルポイの巫女] 302n.15
 テミストクレス Themistoclēs [前480年のペルシア戦争を指揮したアテナイの政治家、軍人。前528頃-462] 489-490, 490n.2
 デメテル Dēmētēr ㊦ 47, 55n.28, 401
 デメトリオス (パレロンの) Dēmētrios [アテナイ (パレロン区) 出身。前350頃-3世紀初め。ペリパトス派の哲学者、弁論家、政治家] 103n.1, 126n.16, 444-445, 510n.3
 デモクラテス Dēmocratēs [ストバイオス*に「箴言集」が伝えられるが、デモクリトス*の誤りであろう] 539
 デモクリトス Dēmocritōs [哲学者 →第15章] 5, 7, 59n.30, 104, 109, 112n.8, 162, 164,

172n.20, 174, 182, 183n.28, 199, 199n.6, 211, 246n.7, 361, 378n.11, 412, 418, 455, 480n.25, 483, 505-542 [第15章 passim], 563
デモケデス Démocédēs [クロトン出身。前6世紀。当時きわめて名声を馳せた医師] 293
デモステネス Dēmosthenēs [アテナイ出身。前385/84-322。弁論家、政治家 →出典箇所索引] 450n.7
デュアナ Tyana 地 134n.1
デュエラ (嵐) Thyella 神 90
テュポエウス Typhōeus 神 73, 81, 90-92, 92n.57, 94
テュボン／テュパオン Typhōn, Typhaōn 神 78n.42, 81, 91n.56, 92, 92n.57
テュレニア Tyrrhenia 地 292, 298
テュロス Tyros 地 5, 85
デーリス (戦闘) Dēris 神 404
デルキュリデス Dercylidēs [後1世紀前半。アカデメイア学派] 109
テルトゥリアヌス Tertullianus, Quintus Septimius Florens [カルタゴ出身。後160頃-220頃。法律家(?)であったが、キリスト教に改宗後キリスト教護教家に転じた。多数の著作が伝存している →出典箇所索引] 91
デルポイ Delphoi 地 103n.1, 274, 276, 302, 302n.15, 305
テレウス Thēleus 神 104
デロス Dēlos 地 72, 74-75, 75n.39, 292
テロン (アクラガスの) Therōn [前540/30-472。アクラガスの僭主(前483-歿年)] 306
トゥウリオイ Thourioi 地 8, 363-364, 402
トゥキュディデス⁽¹⁾ Thoucydidēs [アテナイ出身。前460頃-400頃。歴史家。ペロポネソス戦争を題材に『歴史』を著わす] 490n.2
トゥキュディデス⁽²⁾ Thoucydidēs [前5世紀のアテナイの貴族派政治家で、ペリクレス*のライバル] 444

ドゥリス Douris [サモス島出身。前340頃-260頃。サモスの僭主、歴史家、文人。テオプラストス*の弟子] 104
トオーサ (敏速) Thoōsa 神 404
ドドナ Dōdōna 地 88
トラキア Thracē 地 32, 107, 220, 286, 411, 447, 509
トラシュロス Thrasylos あるいは Thrasylos [エジプトのメンデスあるいはアレクサンドリア出身。後36頃歿。占星学者。プラトン*, デモクリトス*の著作を編集] 506, 508-509, 510n.3, 539
ドリュオプス Dryops 神 [伝説上の古代ギリシア王族の一人] 104
トロイア Troia 地 58n.29, 506, 508 →イリオン

ナ 行

ナイル (河) Neilos 地 21, 106n.4, 107, 447, 478, 557n.10
ナウクラティス Naucratis 地 107, 136n.4
ナウシパネス Nausiphanēs [テオス島出身。前4世紀後半。デモクリトス*の弟子で、テオスに学派を開いた。エピクロス*の師?] 505
ナジアンゾス Nazianzos 地 464
ニカンドロス Nicandros [コロポン付近のクラロス出身。前2世紀か。クラロスのアポロン神殿の神官で、医師、著作家] 407
ニキアス Nicias [前470頃-413。ペロポネソス戦争時の将軍] 449n.7
ニコマコス⁽¹⁾ (アリストテレスの父の) Nicomachos [アリストテレス*の父] 297
ニコマコス⁽²⁾ (ゲラサの) Nicomachos [アラビアのゲラサ出身。後1世紀後半ないし2世紀頃。新ピュタゴラス主義哲学者、数学者 →出典箇所索引] 420n.10
ニコラオス (ダマスコス) Nicolaos [ダマスコス出身。前64頃-後1世紀初頭。ローマ皇帝(特にヘロデス)のもとで活動した

歴史家、文人] 544, 544n.2, 545, 549n.4
 ニフルヘイム Niflheim ㊦ 54n.27
 ニュクス(夜) Nyx ㊦ 15, 28-30, 30n.7, 30n.8, 31-32, 35, 35n.13, 36, 38-42, 46, 50-52, 56-58, 62
 ノウメニオス Noumēnios [シリアのアパメア出身。後2世紀後半。新ピュタゴラス主義哲学者。プロティノス*に大きな影響を与えた] 5, 284
 ノット Nut ㊦ 61
 ノン Nun ㊦ 21n.1, 122n.13
 ネアンテス Neanthēs [キュジコス出身。前3世紀。歴史家] 7
 ネイレオス Neileōs ㊦ [神話伝説上のアテナイ王コドロスの子の一人。兄メドンとの争いにより、イオニア地方に移住、ミレトスの創建者の一人となった] 104
 ネスティス Nēstis ㊦ 370-371, 390
 ネーメルテース(無誤謬) Nēmertēs ㊦ 404
 ノエトス Noētos [スミルナ出身。後200頃。異端的キリスト教の一派を立てた] 4

ハ 行

パウサニアス Pausanias [エンペドクレス^{(2)*}の弟子] 368, 375, 400
 パエトン Phaetōn ㊦ 184, 231
 バシレイデス Basileidēs [グノーシス派のイシドロス*の父] 89n.54
 バッキュリデス Bacchylidēs [ケオス島出身。前5世紀半ば。叙情詩人。シモニデス*の甥 →出典箇所索引] 53
 バッコス Bacchos ㊦ 33, 43-44, 271n.28, 290
 ハデス(冥府) Haidēs ㊦ 16, 18, 24n.5, 29, 33, 50n.24, 51, 89n.54, 91, 127, 272n.30, 274, 290, 299-300, 370-371
 バテュロス Bathyllos [初期ピュタゴラス派] 429n.15
 パネス(光) Phanēs ㊦ 30n.7, 35-36, 36n.13, 37n.16, 38n.19, 41, 41n.22, 42, 47-48
 パパ Papa ㊦ 60, 63

バビュス Babys [シュロスのペレキュデス^{(1)*}の父] 70
 バビュロニア, バビュロン Babylōnia, Babylōn ㊦ 16, 20-21, 21n.1, 27, 34n.11, 48, 61, 63n.33, 80, 88n.54, 92, 96, 109-111, 111n.7, 112, 114n.9, 122-123, 130, 137, 425
 バボリノス(ファウオリヌス) Phabōrinos (Favorinus) [ガリアのアレラトゥム(アルル)出身。後2世紀。主としてローマで活動。後期ソフィストの代表者] 133, 137
 ハム [=ゾロアスター*] Ham ㊦ 85, 88-89n.54
 パラメデス Palamēdēs ㊦ [トロイアに遠征したギリシアの英雄。知謀に長けていたが、オデュッセウスの恨みを買って殺害された] 361
 ハリュス(河) Halys ㊦ 105-106
 ハルピュイア Harpyia ㊦ 90
 ハルボクラティオン Harpocratiōn [アレクサンドリア出身。後1-2世紀。文献学者、辞典編纂者 →出典箇所索引] 499n.9
 パルメニデス Parmenidēs [哲学者 →第8章] 3, 5, 102, 152n.13, 158, 187, 203n.8, 214-216, 217n.1, 218, 218n.1, 222n.4, 223-224, 234, 238, 252n.11, 256, 256n.17, 280-281, 309-340 [第8章 passim], 341, 348, 358-359, 359n.8, 360, 364, 367, 369, 371-372, 375-376, 382, 384, 411, 416, 429, 434n.20, 442-443, 447-448, 450-452, 456, 458, 481, 491, 491n.4, 493-496, 499, 499n.9, 501, 503, 505, 512n.5, 522n.14, 531, 542
 ハルモニア(ハルモニエ) Harmonia ㊦ 84n.50, 381, 390, 404
 パレロン Phalēron ㊦ 103n.1, 126n.16, 444-445
 パロス(大理石碑文) Paros ㊦ 230-231, 479n.23
 バントン Phantōn [ブレイウス出身。前4世紀のピュタゴラス派] 412
 パンピラ Pamphila [エビダウロスまたはエジプト出身。後1世紀。ローマで活動した

- 女性歴史家] 114n.9
- Bias [前7世紀. プリエネの僭主. 七賢人の一人] 112
- ヒエロクレス Hieroclēs [後5世紀後半. アレクサンドリアで活動したピュタゴラス派の新プラトン派の哲学者 →出典箇所索引] 403
- ヒエロニュモス (ロドスの) Hierōnymos [前290頃-230頃. ペリパトス派. 主としてアテナイで活動. ただし37ページ注17参照] 7, 37, 37n.17, 38, 108, 113
- ヒエロン Hierōn [シケリア島シュラクッサイの僭主. 前478に兄のゲロンから地位を継承, 467に歿するまでシケリア全島に大きな勢力を形成した. 彼の宮廷には多数の詩人, 哲学者などが招かれた] 213-214
- ヒッタイト Hittite 地 16, 20, 51, 58n.29, 63-64 →フルリ=ヒッタイト
- ヒッパソス Hippasos [南イタリア (メタポンティオンか) 出身. 前5世紀前半. ピュタゴラス派] 191n.2, 304-305, 434n.20
- ヒッパルコス Hipparchos [アテナイの僭主ペイシストラトスの子. 前514にハルモディオスとアリストゲイトンによって暗殺された] 31n.9
- ヒッピアス Hippias [エリス出身. 前5世紀後半. 博学多才タイプのソフィスト] 5, 125-126, 127n.17
- ヒッポクラテス Hippocratēs [コス島出身. 前5世紀. コス派医師団の祖 →出典箇所索引] 68n.35, 80n.44, 173, 260n.19, 272-273n.30, 486n.8, 546, 560n.11
- ヒッポニオン Hipponion 地 43
- ヒッポボトス Hippobotos [前3世紀後半. 不詳の著作家. 学説誌的著作があった] 363
- ヒッポリュトス Hippolytos [東方ギリシアないしローマ出身. 後170頃-236頃. ギリシア教父. ローマにおいて教会の要職を歴任 →出典箇所索引] 4-5, 9-10, 88n.54, 121n.12, 134n.1, 140-141, 167, 173, 175-177, 180, 184, 187, 188n.1, 189-191, 194, 196, 198, 200-203, 205, 225, 227, 230-231, 245, 245n.7, 246-247, 247n.8, 249, 251, 251n.11, 253, 259, 271, 271n.28, 381, 400, 402, 434n.19, 478, 480, 484, 514n.7, 524
- ヒッポン (サモスの) Hippōn [サモス島出身. 前5世紀後半. 自然学者] 119-120n.10, 120-121n.11, 547
- ビュザンティオン Byzantion 地 83n.49, 543n.1
- ピュタゴラス Pythagoras [哲学者 →第7章] 5, 9-10, 16, 69, 71-73, 88n.54, 102, 134n.1, 139n.7, 158, 179, 206n.9, 213-214, 216-217, 235, 237, 238n.1, 245n.6, 267, 273, 278, 280-281, 282-308 [第7章 passim], 364, 413-414, 418-420, 420n.9, 421, 423-425, 426n.13, 428n.14, 437, 439
——派 (教徒) Pythagoreioi [→第11章] 33, 44, 69, 102, 158, 206n.9, 221n.3, 282-285, 285n.2, 289-294, 296-303, 303n.16, 304-311, 337, 359n.7, 364, 389, 401, 405-406, 409-410, 411-440 [第11章 passim], 499n.9
- ピュトクレス Pythoclēs [ランブサコス出身. 前4世紀後半. エピクロス*の弟子] 523n.15
- ピュトドロス Pythodōros [アテナイ出身. 前5世紀後半. ソクラテス*の仲間の一人] 309
- ヒュプノス (眠り) Hypnos 神 23, 27-28
- ビュブロス Byblos 地 58n.29, 92
- ヒュペリオン Hyperion 神 22, 51
- ピュラ Pyrrha 神 231
- ピュレス Pyrēs [パルメニデス*の父] 309
- ピロデモス Philodēmos [パレスティナのガラタ出身. 前110頃-前40/35頃. ローマで活動したエピクロス派の哲学者, 詩人 →出典箇所索引] 5, 25n.6, 29, 30n.8
- ピロポノス Philoponos [アレクサンドリア出身. 後490頃-570頃. キリスト教徒で, ギリシア語文法家, 哲学者. アリスト

- テレス*の著作への注解を多数著わした] 512n.5
- ピロラオス Philolaos [哲学者 →第11章] 285, 303, 336-337, 411-440 [第11章 passim], 459
- ピロン (ビュプロスの) Philōn [フェニキアのビュプロス出身。後1ないし2世紀。宗教史家] 58n.29, 92
- ピンダロス Pindaros [前518頃-438頃。テバイ出身。合唱叙情詩人 →出典箇所索引] 17, 78n.41, 81, 112, 233, 270n.27, 306, 396, 406
- ファウオリヌス Favorinus →パボリノス
- フェニキア Phoinicē 地 58n.29, 73, 75n.39, 92, 104, 104n.2, 105, 112
- プトレマイオス Ptolemaios, Claudios [アレクサンドリア出身。後2世紀。数学者、天文学者、地理学者。古代ギリシア天文学を集大成した『数理天文学大系』（いわゆる「アルマゲスト」）で知られる →出典箇所索引] 425
- プラクシアデス Praxiadēs [アナクシマン드로ス^{(1)*}の父] 133, 141
- プラクシパネス Praxiphanēs [不詳。レスボス島のミュティレネ出身で、前4世紀末-3世紀半ばに主としてロドスで活動したペリパトス派の哲学者とは別人であろう] 505
- プラタイア Plataia 地 84n.50
- プラトン Platōn [アテナイ出身。前427-347。哲学者 →出典箇所索引] 3, 5-6, 25-26, 33, 34n.11, 45, 49-50n.24, 52, 59n.30, 82n.46, 95n.58, 105, 107-108, 112, 126, 126n.16, 162, 168, 200, 210n.10, 215, 228, 240-242, 242n.4, 243, 251n.11, 255, 255n.16, 256-258, 262n.20, 270n.27, 278, 282-284, 289-291, 293, 303, 307, 309-311, 319, 321, 336, 338, 341-343, 358-359, 359n.8, 360-361, 396, 406, 411, 413, 422n.11, 423, 425, 432n.18, 435-439, 445, 447-448, 459, 470n.19, 477, 480n.25, 486, 491, 496, 503, 508-509, 512n.4, 516n.8, 541 訳注, 542
- プリアモス Priamos 神 401
- プリニウス (大) Plinius (Gaius P. Secundus) [北イタリアのコムム出身。後23-79。ローマの軍人・政治家で、博物学者 →出典箇所索引] 69n.36, 103n.1, 113, 117, 136n.5, 138n.6, 479, 479n.23
- ブリュギア Phrygia 地 543n.1
- ブルタルコス Ploutarchos [ボイオティア地方のカイロネイア出身。後45頃-120頃。アテナイでプラトン哲学などを学び、各地を旅行したのち、主として郷里で著作活動を行なった →出典箇所索引] 4, 8-10, 25n.6, 78n.41, 113, 116, 140-141, 157, 157n.16, 164, 171-175, 184-185, 185n.29, 190, 193-195, 197-198, 206n.9, 225-226, 232-233, 247, 251n.11, 255, 255n.16, 259, 259n.18, 263, 272n.29, 274, 274n.32, 275, 275n.32, 284n.1, 322n.8, 333, 336, 365, 367, 367n.2, 376-378, 386-388, 391, 393, 399, 402, 404, 408, 446, 446n.2, 478, 480n.25, 484n.3, 489, 490n.2, 516n.9, 556
- フルリ, フルリ=ヒッタイト Hurrian, Hurrian-Hittite 地 47, 61, 63, 92 →ヒッタイト
- ブレイウス Phleious 地 217, 222n.4, 239, 283, 412
- プロクロス Proclus [コンスタンティノポリス出身。後410頃-485。アテナイのアカデメイア学頭となり、新プラトン主義哲学を精緻に体系化した →出典箇所索引] 5, 30n.7, 36n.14, 41n.21, 84, 106, 113-114, 315-316, 319n.7, 424-425
- ブロソン Blossōn [ヘラクレイトス*の父] 237
- プロタゴラス Prōtagoras [アブデラ出身。前487頃-420頃。ソフィストの第一人者で、約40年間アテナイで活動] 59n.30, 361, 507, 516, 516n.8
- プロディコス Prodicos [グノーシス派] 89n.54

プロティノス Plōtinus [エジプト出身. 後
204/05-269/70. アレクサンドリアで学ん
だのち, ローマで活動. 新プラトン主義哲
学の創始者 →出典箇所索引] 5, 319n.7
プロ (ン) ティノス Bro(n)tinus [初期ピュタ
ゴラス派] 289, 429n.15
プロメテウス Promētheus ㊦ 63n.33
ペイトー (説得の女神) Peithō ㊦ 316
ペイリトオス Peirithoos [アルクマイオン*
の父] 429n.15
ヘカタイオス ⁽¹⁾ (ミレトスの) Hecataios [ミ
レトス出身. 前6世紀. 歴史家, 地理誌家]
138-139, 237-238, 238n.1, 245n.6, 285
ヘカタイオス ⁽²⁾ (アブデラの) Hecataios [ア
ブデラ出身. 前4世紀後半. 『エジプト史』
を著わした] 509n.2
ヘゲシストラトス Hēgēsistratos [デモクリ
トス*の父] 505
ヘゲシブウロス Hēgēsiboulos [アナクサゴラ
ス*の父] 471
ヘシオドス Hēsiodos [ボイオティアのアス
クラ出身. 前8世紀. 叙事詩人 →出典箇
所索引] 15-16, 18, 21, 22n.2, 22n.3, 24n.5,
26-31, 31n.10, 32, 36n.14, 37n.16, 38, 41,
41n.21, 41n.22, 42, 46-49, 51-53, 55, 55n.28,
56-58, 58-59n.29, 60-61, 61n.32, 62-64,
67-68, 71, 73, 74n.38, 77, 82n.46, 87, 90-93,
96-99, 102, 116-117, 127n.17, 128n.18,
179-180, 213, 220, 228-229, 237, 245n.6,
248, 271, 271n.28, 273, 285, 291, 314-315,
330, 330n.15, 334, 336, 340, 367, 403, 405,
407
ヘシュキオス (ミレトスの) Hēsychios [後6
世紀. 歴史家. 『スーダ』に多数引用され
ている] 83n.48, 115-116, 135
ヘスペリス (夕闇) Hesperis ㊦ 22
ヘパイストス Hēphaistos ㊦ 19, 22, 84,
389-390
ヘーメラエ (昼日) Hēmerē ㊦ 50
ヘラ Hēra ㊦ 23-24, 78, 78n.42, 81, 83,
84n.50, 85n.51, 94-95, 370-371

ヘラクレイア Hēracleia ㊦ 558n.10
ヘラクレイデス (ポントスの) Hēracleidēs
[ポントスのヘラクレイア出身. 前4世紀.
プラトン*の弟子. 天文学をはじめ多方面
にわたる著作があった] 10, 363
ヘラクレイトス ⁽¹⁾ (エバソスの) Hēracleitos
[哲学者 →第6章] 4-5, 9-10, 17, 23,
25, 48-49, 77, 89, 96-97, 102, 109, 112n.8,
120, 152, 152n.13, 153-154, 156, 156n.15,
158-159, 161-162, 166, 178, 180n.27, 191,
191n.2, 192, 193n.3, 196, 197n.5, 206n.9,
208, 210-211, 214, 216, 218-219, 221, 226,
228, 233-234, 237-278 [第6章 passim] ,
285-286, 286n.3, 287, 302-303, 315, 315n.5,
338, 364, 369, 369-370n.5, 372-373,
375-376, 417, 436, 453, 466, 535n.25,
542n.27, 547-548, 551-552, 554-555, 555n.9,
556, 561, 563
ヘラクレイトス ⁽²⁾ (ホメロス*注釈家の)
Hēracleitos [後1世紀か. 『ホメロス問題』
のみが知られている →出典箇所索引]
121n.12
ヘラクレス Hēracles ㊦ 37-38
ヘラコン Hēracōn [ヘラクレイトス ⁽¹⁾*の
父?] 237
ヘラニコス Hellanicos [レスボス島出身. 前
5世紀. 神統記的著作の他にも多方面にわ
たり多数の著作があった. ただし, 当該箇
所参照] 37, 37n.17, 38
ヘリオス (太陽) Helios ㊦ 22
ヘリオペー (日輪) Hēliopē ㊦ 404
ヘリオポリス Hēliopolis ㊦ 21n.1
ペリクレス Periclēs [アテナイの黄金期を
主導した軍人, 民主派政治家. 前495頃
-429] 444-446, 446n.2, 489
ペリパトス派 Peripatēticoi 6-7, 9, 25, 29,
35, 72, 107, 119n.10, 124, 130, 143-144, 156,
159, 173, 195, 240, 263, 424, 537
ペルシア Persis ㊦ 78n.41, 238, 444, 510n.3
ペルセボネ Persephonē ㊦ 47, 305, 402, 406
ヘルマルコス Hermarchos [ミュティレネ

- 出身. 前 4 世紀半ば - 3 世紀前半. エピクロス*の弟子で、彼の学園の後継者] 505-506
- ヘルミッポス Hermippos [スミュルナ出身. 前 3 世紀後半. カリマコス*の弟子で主としてアレクサンドリアで活動. 歴史家兼伝記著作家] 7, 69n.36, 284n.1, 292, 413
- ヘルメイアス Hermeias [アレクサンドリア出身. 後 2 世紀後半 - 3 世紀前半. キリスト教思想家. 著作に『異教哲学者を諷す』がある] 35n.13
- ヘルメス Hermēs ㊦ 401
- ヘルメス・トリスメギストス Hermēs Trismegistos [エジプトのトト神の異称で、その名に仮託された著作の大部分は、古資料によりながら後 4 世紀頃に書かれたものである] 58n.29
- ヘルモドロス Hermodōros [ヘラクレイトス^{(1)*}の知人] 238, 276n.33
- ヘルモポリス Hermopolis ㊦ 60
- ペレキュデス⁽¹⁾ (シュロスの) Pherecydēs [前 550 頃. オルベウス教的神話思想家. 最初期の散文著作家 → 第 1 章第 6 節 (B)] 16, 34n.11, 41, 41n.21, 48, 52, 68, 68n.35, 69-74, 76-78, 78n.41, 80n.45, 81-82, 82n.46, 83, 83n.47, 83n.49, 84-86, 86n.52, 88n.53, 88n.54, 89, 89n.54, 90-95, 95n.58, 96, 110, 136n.4, 139n.7, 286, 292-293, 562
- ペレキュデス⁽²⁾ (アテナイの) Pherecydēs [前 5 世紀前半. 歴史家. 神統記的著作がある] 68, 71
- ペレキュデス⁽³⁾ (レリア／レロスの) Pherecydēs [前 4 世紀か. 『アッティカ史』を著わした歴史家] 68
- ヘレスポントス Hellēspontos ㊦ 286
- ヘレネ Helenē ㊦ 42n.23, 277
- ヘロディアノス Hērōdianos [アレクサンドリア出身. 後 2 世紀半ば. 文法家. 主としてローマで活動. マルクス・アウレリウス*の師 → 出典個所索引] 74, 230, 233, 366n.1
- ヘロドトス Hērōdotos [ハリカルナッソス出身. 前 485 頃 - 420 頃. 歴史家 → 出典個所索引] 19-20, 31n.9, 33, 44, 104, 104n.2, 105-106, 106n.4, 107-109, 110n.5, 111, 111n.7, 137, 139, 220, 286-290, 293, 298
- ペロポンネソス (半島) Peloponnēsos ㊦ 294, 446n.2, 447, 478, 563
- ボイオティア Boiotia ㊦ 104n.2
- ボエティウス Boethius [ローマ出身. 後 480-524. 政治家, 哲学者. 『哲学の慰め』で知られる → 出典個所索引] 425
- ボコス Phōcos [サモス出身の天文学者. 不詳] 115-116
- ポセイドニオス Poseidōnios [シリアのアバメア出身. 前 135 頃 - 前 50 頃. 中期ストア派の哲学者. アテナイでパナイティオスに学び, ロドスで学派を開いた] 8, 123n.14, 270n.27, 284n.1, 537n.26
- ポセイドン Poseidōn ㊦ 24n.5, 406
- ホメロス Homēros [前 8 世紀頃. 叙事詩人 → 出典個所索引] 15-21, 22n.2, 23, 23n.4, 24, 24n.5, 25, 25n.6, 26-30, 32, 42n.23, 49, 51, 55n.28, 57, 58n.29, 66, 74-75, 75n.39, 75n.40, 76, 78n.42, 81, 86n.52, 87, 90-91, 93, 98, 102, 119, 123, 125, 127, 127n.17, 130n.20, 138, 145, 154-155, 179-180, 190, 200, 202, 207, 213, 215-216, 219-221, 222n.6, 223-225, 228-230, 233-234, 245n.6, 254, 254n.15, 266, 276, 282, 290, 314, 367n.2, 368, 380, 395, 403, 478, 525n.17, 554
- ポリュクラテス Polycratēs [ピュタゴラス*時代のサモスの僭主. 前 540 頃 - 522 頃在位] 133-134, 134n.1, 292-293
- ポリュビオス Polybios [アルカディア地方のメガロポリス出身. 前 200 頃 - 118 頃. 対ローマ戦に敗れたのち, 主としてローマで活動. 彼の『歴史』は, ローマの興隆を中心に論じている → 出典個所索引] 294, 297, 369n.5
- ポリュムナストス Polymnastos [ブレイウス出身. 前 4 世紀のピュタゴラス派] 412

ポルクユス Phorcys 〔神〕 26

ポルクス Pollux [エジプトのナウクラティス出身。後2世紀。主にアテナイで活動した後期ソフィスト。文法学者、弁論術教師。『語彙辞典』が伝存 → 出典個所索引] 217

ポルピュリオス Porphyrios [シュリアのテュロス出身。後234頃-304頃。新プラトン派哲学者。ローマでプロティノス*に学び、のちに師の著作を『エンネアデス』として編纂した → 出典個所索引] 5, 72, 80n.45, 82n.46, 134n.1, 250n.10, 251n.11, 285, 287, 292, 295, 300-301, 303, 305, 307, 315n.5, 398, 404, 406-408, 484n.2, 544n.2

ボレアス (北風) Boreas 〔神〕 90

ポントス ⁽¹⁾ Pontos 〔地〕 10

ポントス ⁽²⁾ (大海) Pontos 〔神〕 26, 47, 50-52, 52n.26

ポンペイウス・トログス Pompeius Trogus
→ ユスティヌス

マ 行

マクシモス (テュロスの) Maximos [フェニキアのテュロス出身。後125頃-185頃。プラトン哲学に親しんだギリシア弁論家・ソフィストで、主としてローマで活動 → 出典個所索引] 5, 85, 90-91, 93-94

マグナ・グラエキア Magna Graecia 〔地〕 43

マグネシア Magnēsia 〔地〕 125-126, 128, 490n.2

マクロビウス Macrobius [アフリカ出身のギリシア人か。後4-5世紀。ラテン文法家、著作家 → 出典個所索引] 268n.25, 305

マヅダ Mazda 〔神〕 78n.41

マルクス・アウレリウス Marcus Aurelius
[ローマ皇帝。後161-80在位。著書に『自省録』がある] 5

マルタ Malta 〔地〕 230 → メリテ

マルドゥク Marduk 〔神〕 48, 61, 92, 122

ミドン Midōn [アルケラオス*の父?] 483

ミニュアス Minyas 〔神〕 [神話伝説上オルコメノスの創建者、ミニュア族の祖] 104n.2

ミムネルモス Mimnermos [コロポン出身。前630頃。エレゲイア詩人、音楽家 → 出典個所索引] 22

ミュケナイ Mycenai 〔地〕 42n.23

ミレトス Milētos 〔地〕 44, 99, 102-109, 112, 114, 117, 133, 136n.4, 138-139, 139n.7, 141, 182, 184, 187-189, 206, 210, 232, 299, 446n.3, 483, 505-506, 543

——派 Milēsioi 15, 17, 76, 102, 152, 193, 211, 214, 218, 218n.1, 224, 229, 231, 235, 250, 260, 262-263, 280, 337, 384, 442, 506, 543, 548, 557

ミロン Milōn [クロトン出身。前5世紀後半。ピュタゴラス*の弟子で、古代ギリシアで最も名高い体育競技者] 294

ムウサ (ミューズ) Mousa 〔神〕 65, 233, 305, 369, 424

ムウサイオス Mousaios [半ば伝説上の存在で、オルベウス* (教) と関係のある神話語り。神託で有名] 29-31, 31n.9, 33, 38

ムスベルズヘイム Muspellsheim 〔神〕 54n.27

ムネサルコス Mnēsarchos [ピュタゴラス*の父] 285-286, 292

ムネモシュネ Mnēmosynē 〔神〕 43

ムンム Munm 〔神〕 21n.1

メソポタミア Mesopotamia 〔地〕 20-21

メタポンティオン Metapontion 〔地〕 120n.11, 292, 297-298, 302n.15, 304

メッセネ Messēnē 〔地〕 71

メディア Mēdia 〔地〕 109, 214

メトロドロス (キオスの) Mētrodōros [前4世紀。デモクリトス*の弟子] 527n.20

メトン ⁽¹⁾ (アクラガスの) Metōn [エンベドクレス ⁽²⁾*の父] 363

メトン ⁽²⁾ (アテナイの) Metōn [アテナイ出身。前5世紀後半。天文学者。「メトン周期」で知られる] 105

メノン Menōn [アリストテレス*の弟子。医学関係の学説誌を編纂] 6, 412n.1, 413,

431n.17

メリアス Melias 神 62

メリッソス Melissos [哲学者 →第14章]
145, 215-216, 223-224, 256n.17, 347, 361,
415n.5, 442-443, 448, 489-503 [第14章
passim], 506, 512, 512n.5, 513, 514n.7, 516,
520, 542, 547, 554

メリテ Melitè 地 230 →マルタ

メンフィス Memphis 地 79

モイラ (運命の女神) Moira 神 327

モデラトス Moderatos [ヒスパニア (スペイ
ン) のガデス出身。後50頃-100頃。ピュ
タゴラス派についての著作がある] 284

ヤ 行

ヤハウェ Yahweh 神 63n.33, 122

ユスティヌス Iustinus [年代・出自とも不
詳 (後3世紀頃か)。アウグストゥス期の
歴史家・自然誌家ポンペイウス・トログ
スの散佚した『ピリッポス史』(Historiae
Philippicae) の抄録作家として重要 →出
典個所索引] 295-296

ユグドラシル Yggdrasil 神 88n.53

ヨセフス Iosephus Flavius [イエルサレム出
身。後37-98頃。ユダヤ歴史家 →出典個
所索引] 37n.17, 284n.1

ラ 行

ラケシス Lachesis 神 38

ラケダイモン Lacedaimôn 地 133 →スパ
ルタ

ラダマンテュス Rhadamanthys 神 307

ランギ Rangi 神 60, 63

ランプサコス Lampsacos 地 444-445, 447,
447n.4

リバイ (連山) Rhipai 地 204

リバイアサン Leviathan 神 122

リュコプロン Lycophrôn [エウボイア島のカ
ルキス出身。前320頃-前3世紀半ば。ア
レクサンドリアで活動した文献学者、詩
人] 83n.49

リュシス Lysis [クロトン出身。前5世紀初
め。初期ピュタゴラス派] 294

リュディア Lydia 地 69, 109, 214

ルキアノス Loucianos [シュリアのサモサタ
出身。後2世紀。弁論術、哲学を学び、対
話体による多数の作品を著わした →出典
個所索引] 52

ルクレティウス Lucretius [前94頃-55頃。
エピクロス派のアトミズムの世界を語った
『事物の本性について』のほかは、ほとん
ど何も知られていない →出典個所索引]
474, 530, 542

ルフス／ルウポス Rufus/Rhouphos [エペソ
ス出身。トラヤヌス帝時代 (後98-117)
頃を中心に、ローマで活動したギリシア人
医師] 545

レ (太陽神) Re 神 21n.1, 60-61, 79, 92

レー Rhê 神 79, 82n.46 →レア

レア Rhea 神 26-27, 41, 47, 64, 79, 82n.46,
89-90, 94, 305, 307 →レー

レウキッポス Leucippos [哲学者 →第
15章] 162, 164, 204, 211, 361, 418, 455,
483, 491, 499, 505-542 [第15章 passim],
546-547, 547n.3, 550, 550n.5, 557-558

レオン Leôn [初期ピュタゴラス派。不詳]
429n.15

レオンティノイ Leontinoi 地 364

レギオン Rhêgion 地 120n.11, 294

レスボス Lesbos 地 37n.17

レリア (レロス) Leria 地 68

ロドス Rhodos 地 7, 59, 89, 108, 113, 557n.10

ロボン (アルゴスの) Lobôn [前2世紀 (あ
るいは前3世紀か)。偽作者として知られ
る詩人] 116, 216

B) 人名 (近・現代)

- Allen, R. E. 322n.8, 331n.16, 336n.17,
425n.13, 463n.11
- Alt, K. 210n.10
- Bailey, C. 462, 507n.1, 532
- Baldry, H. C. 175n.24
- Barnes, J. 173n.22, 193, 221, 222n.5, 235n.11,
289, 347, 373, 414-415, 463n.11, 491n.4,
500n.11, 513n.6, 516n.9, 518n.10 (訳注),
521n.12, 549n.4
- Barnett, R. D. 63n.34
- Bergk, Th. 368n.3, 386n.15
- Betegh, G. 45 訳注
- Bidez, J. 88n.54
- Blass, F. 83n.47
- Bollack, J. 367n.2
- Boyle, R. 193
- Burkert, W. 45-46, 66, 283, 290n.6, 291n.8,
296, 298, 302n.15, 305, 412n.2, 413-414, 420,
425, 425n.12, 425n.13, 432n.18
- Burnet, J. 114n.9, 121, 129, 134, 143, 161,
168, 196n.5, 218, 283, 310, 388, 448, 449n.6,
492n.5, 501, 506, 529, 545
- Burnyeat, M. F. 327n.13
- Calogero, G. 172n.20
- Carratelli, G. Pugliese 43
- Cherniss, H. 146n.10, 150, 157n.17, 432n.18,
535n.25
- Cornford, F. M. 54-55, 58n.29, 59n.30, 145,
146n.9, 161, 172n.21, 174, 185, 283, 356n.4,
460, 469, 472n.20, 477
- Covotti, A. 496n.7
- Coxon, A. H. 313n.2
- Cumont, F. 88n.54
- Deichgräber, K. 232-234
- Descartes, R. 312
- Dicks, D. R. 106n.3
- Diels, H. 8-9, 59n.30, 71n.37, 83n.47, 86,
86n.52, 107, 116, 146n.9, 176n.25, 179, 185,
188n.1, 190, 220n.2, 228n.9, 230, 232, 241,
249, 253n.14, 265n.22, 298n.11, 314n.3,
366n.1, 368n.3, 369n.4, 372n.6, 376n.9, 401,
484n.4, 486n.7, 531n.23, 533, 537n.26, 545,
556
- Diller, H. 547n.3
- Dodds, E. R. 16, 298n.12
- Dover, K. J. 446
- Emperius, A. 185n.29
- Erbse, H. 81
- Farnell, L. R. 84n.50
- Förster, A. 396n.20
- Fränkel, H. 275n.32, 336n.17, 346n.1, 368n.3
- Frankfort, H. 16, 122n.13
- Fritz, K. von 86, 86n.52, 87, 222n.6, 294n.9
- Furley, D. J. 322n.8, 331-332n.16, 336n.17,
344, 423, 425n.13, 463n.11, 507n.1, 512n.4,
513n.6, 521n.12
- Gaye, R. K. 349-350, 352
- Gigon, O. 265n.22
- Gomme, A. W. 490n.2
- Gomperz, H. 73, 82n.46, 86
- Gomperz, Th. 38n.19, 230
- Grenfel, B. P. & Hunt, A. S. 82
- Gurney, O. R. 16, 61, 63n.34, 92
- Güterbock, H. G. 63n.34
- Guthrie, W. K. C. 33, 193, 202n.7, 252n.11,
257, 262, 262n.20, 338n.18, 367n.2, 369,
374n.7, 392, 406, 431n.18, 507n.1, 521n.12
- Hardie, R. P. 464, 499n.9
- Harnack, A. von 88n.54
- Heidel, W. A. 175n.24, 265n.22, 414n.3,
425n.13
- Hermann, G. 407n.22

- Herwerden, H. van 220n.2
 Hölscher, U. 58n.29, 122n.13, 170-171, 336n.17
 Hussey, E. 149
 Jacoby, F. 68n.35
 Jaeger, W. 16, 71n.37, 86n.52, 218
 Jones, A. H. M. 449n.7
 Kahn, Ch. H. 110, 136n.3, 139-140, 143, 146n.9, 149, 157n.16, 162, 176, 176n.25, 177, 180-182, 186n.30, 207n.9, 241n.3, 261n.20, 319n.7, 431, 446n.1
 Karsten, S. 228n.9, 323n.9, 386n.14, 500n.11
 Kerferd, G. B. 188n.1
 Kern, O. 35n.12, 78n.41, 79n.43
 Kirk, G. S. 16, 63n.34, 135n.3, 149, 255n.16, 259n.18, 264n.21, 318, 322n.8, 328, 331n.16, 344, 357, 359n.7, 373n.7, 431n.18, 529
 Kranz, W. 40n.20, 556
 Kroll, W. 40n.20
 Laks, A. 45 訳注
 Lear, J. D. 355
 Lee, E. N. 332n.16
 Lee, H. D. P. 356n.6
 Lewis, I. M. 298n.12
 Linforth, I. M. 33, 45
 Lloyd-Jones, H. 230
 Lobeck, Ch. A. 38n.19
 Long, A. A. 331n.16
 Lorimer, H. L. 75n.39, 75n.40
 Mansfeld, J. 448n.5
 Martin, A. 379 訳注
 Merkelbach, R. 45
 Meyer, B. E. 291n.8
 Mondolfo, R. 86n.52
 Morrison, J. S. 295-296, 336n.17
 Most, G. W. 45 訳注
 Mourelatos, A. P. O. 313n.2, 314n.3, 327n.13, 330n.15, 332n.16, 431
 Neugebauer, O. 425
 Newton, I. 522n.14
 Nilsson, M. P. 42n.23
 Nussbaum, M. C. 262n.20, 416n.7
 O'Brien, D. 373n.7, 446n.1, 530n.22
 Owen, G. E. L. 322n.8, 344
 Page, D. L. 66-67
 Parassoglou, G. M. 45, 45 訳注
 Philip, J. A. 414, 425, 431
 Pritchard, J. B. 16, 21n.1
 Primavesi, O. 379 訳注
 Raven, J. E. 318, 322n.8, 328, 331n.16, 344, 357, 359n.7, 373n.7, 431n.18, 529
 Reale, G. 491n.4, 492n.5
 Reinhardt, K. 323n.9, 336n.17
 Reiske, J. J. 377n.10
 Robertson, D. S. 273
 Roeper, T. 176n.25, 484n.4
 Ross, W. D. 167n.19, 283, 297-298, 300-301, 305-306, 353 訳注, 355n.2, 355n.3, 356n.5, 356n.6, 364, 384n.13, 422, 422n.11, 428n.14, 429-430, 445, 446n.1, 512n.4
 Russell, B. 319, 361
 Sandbach, F. H. 286n.4
 Sanders, E. P. 291n.8
 Scaliger, J. J. 445
 Schmalzriedt, E. 491n.3
 Schofield, M. 262n.20, 454n.9, 463n.11, 468n.16
 Sedley, D. N. 522n.14
 Sider, D. 448n.5
 Snell, B. 127n.17, 249n.9
 Snorri Sturluson 54n.27
 Speiser, E. A. 21n.1
 Stein, H. 369n.4
 Stocks, J. L. 433, 435
 Stokes, M. C. 468n.13, 507n.1, 513n.6, 521n.12
 Strang, C. 463n.11
 Sylburg, S. 220n.2
 Tannery, P. 103n.1, 168
 Taylor, A. E. 446, 448n.5
 Theiler, W. 545
 Thesleff, H. 285n.2

- Thompson, D'Arcy 562
- Tsantsanoglou, K. 45, 45 訳注
- Verdenius, W. J. 272n.29
- Vernant, J. P. 66
- Vlastos, G. 58n.29, 157n.17, 172n.21, 174, 210n.10, 247n.8, 251n.11, 257, 259n.18, 265n.22, 268, 460, 509n.2, 527n.21
- Vogel, C. J. de 414
- Walbank, F. W. 294
- Walzer, R. 265n.22, 545
- Wasserstein, A. 111n.7
- Webster, T. B. L. 88
- Weil, H. 83n.47
- West, M. L. 22n.2, 22n.3, 44, 66
- Whitby, M. 149
- Wiggins, D. 262n.20
- Wilamowitz, U. von 33, 45, 68n.35, 78, 78n.41, 268, 401
- Wilson, J. A. 21n.1, 122n.13
- Woodbury, L. 448n.5
- Wright, M. R. 366, 366n.1, 373n.7, 379n.12, 387n.16, 395n.18
- Zeller, E. 87, 161, 197, 199n.6, 353 訳注 , 455, 485n.6, 487n.10
- Zuntz, G. 43-44, 287n.5, 366n.1, 402-403, 407n.23